

2015年度(平成27)年度以前 入学生対象

対象入学年度	対象学科	変更箇所	変更前	変更後	変更年月
2015年度以前入学生	全学科	卒業見込(卒業年次生対象)	<p>「卒業見込」とは、卒業年度の4月の履修登録時点(4年生以上は年1回の登録)で、以下の3つの条件を満たしている状態を指します。なお、「卒業見込」の状態である時のみ、卒業見込証明書を発行することが可能です。</p> <p>① 4年生以上であること。 ② 「前年度までの修得済み卒業要件単位数」と「今年度の履修登録単位数(修得予定の単位数)」<卒業年度の4月に履修登録した1年分の単位>の合計が、卒業要件単位数以上であること。 ③ 上記②の合計単位数が、学科で定める各区分(教養教育科目(2014年度以前入学生:基礎科目・総合科目)、学部内共通科目、学科固有科目、フリーゾーン)の所定の卒業要件単位数を満たしていること。 注) 卒業年度の前期の成績により上記「卒業見込」に係る3つの条件を満たすことができなくなった学生は「卒業見込」の状態ではなくなりますので、必ず理工学部教務課へ相談に来てください。</p>	<p>「卒業見込」とは、4年次の学生がそのまま学修を続けて学年末に卒業できることが見込まれる状態のことを言います。「卒業見込」の状態である時のみ、卒業見込証明書の発行を受けることが可能です。具体的には、次の2つの条件を満たしている学生が「卒業見込」と見なされます。</p> <p>1) 4年次であること。 2) 修得済みの単位数と、履修登録している科目の単位数をあわせると、卒業要件単位(最低)数表に示す各区分の単位数以上になること 通常は、4年次の履修登録により「卒業見込」となります。しかし、前期の単位取得状況により、「卒業見込」でなくなることがあります。万が一、「卒業見込」でなくなった場合には、必ず前期成績表配付後直ちに理工学部教務課に申し出てください。</p>	2015年3月23日
2014~2015年度入学生	情報メディア学科	卒業・進級要件	(p.44-45) <4年進級要件> 必修科目52単位 選択必修8単位 卒業要件単位100単位	<4年進級要件> 必修科目52単位 選択必修6単位 卒業要件単位100単位	2015年4月6日
2014~2015年度入学生	情報メディア学科	設置科目・カリキュラムフローチャート	(p.44-47) 無線通信工学:3年後期	(p.44-47) 無線通信工学:3年前期	2016年3月22日
2015年度以前入学生	全学科	IV履修登録 2.履修登録手続のスケジュール	<卒業年次生> 後期 ①前期成績表配付 ②履修辞退制度 ③定期試験 ④後期成績表配付	<卒業年次生> 後期 ①前期成績表配付 ②履修登録の追加・変更 ③履修辞退制度 ④定期試験 ⑤後期成績表配付	2016年7月1日

2015年度(平成27)年度以前 入学生対象

対象入学年度	対象学科	変更箇所	変更前	変更後	変更年月
2015年度以前 入学生	全学科	教養教育科目 開設科目		2016年度から新設 「海外英語研修」(2単位)第2セメスター配当 ※1年次生・2年次生のみ履修可。	2016年4月1日
2015年度以前 入学生	全学科	履修制限単位		履修制限に含まれない科目に、「海外英語研修」(2単位) を追加。	2016年4月1日
2015年度以前 入学生	全学科	授業休止の取扱基準		2016年4月1日から新たな基準を制定しました。詳細は、本 学ホームページを参照してください。 http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html	2016年4月1日
2015年度以前 入学生	全学科	復学願の添付書類	理由書	疾病の場合は回復診断書	2016年4月1日
2015年度以前 入学生	全学科	学校学生生徒旅客運 賃割引証(学割証)の 発行	年度毎に1人10枚	年度毎に1人20枚	2016年4月1日

2015年度(平成27)年度以前 入学生対象

対象入学年度	対象学科	変更箇所	変更前	変更後	変更年月
2013年度以前 入学生	機械システム工学科	卒業・進級要件 ※別紙①参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 73単位 卒業要件総修得単位数 134単位	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 73単位 E) 卒業要件総修得単位数 134単位 E)選択必修科目である学外実習(キャリア実践実習)もしくはグローバル人材育成プログラム I (海外キャリア実践教育及び実習A)の2単位を含む。	2018年7月25日
2015年度入学生	機械システム工学科	卒業・進級要件 ※別紙②参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 74単位 選択必修科目単位数 6単位 卒業要件総修得単位数 124単位	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 74単位 選択必修科目単位数 6単位 H) 卒業要件総修得単位数 124単位 H)教養教育科目の選択必修単位数4単位+学部内共通科目の選択必修単位数2単位	2018年7月25日
2015年度入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙③参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 84単位 選択必修科目単位数 10単位 卒業要件総修得単位数 124単位	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 84単位 選択必修科目単位数 10単位 F) 卒業要件総修得単位数 124単位 F)教養教育科目の選択必修単位数4単位+学部内共通科目の選択必修単位数2単位+学科固有科目の選択必修単位数4単位	2018年7月25日
2014年度入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙④参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 84単位 選択必修科目単位数 6単位 卒業要件総修得単位数 124単位	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 84単位 選択必修科目単位数 6単位 D) 卒業要件総修得単位数 124単位 D)学部内共通科目の選択必修単位数2単位+学科固有科目の選択必修単位数4単位	2018年7月25日
2013年度以前 入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙⑤参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 88単位 選択必修科目単位数 6単位 卒業要件総修得単位数 134単位	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 <卒業> 必修科目単位数 88単位 選択必修科目単位数 6単位 F) 卒業要件総修得単位数 134単位 F)学部内共通科目の選択必修単位数2単位+学科固有科目の選択必修単位数4単位	2018年7月25日

2015年度(平成27)年度以前 入学生対象

対象入学年度	対象学科	変更箇所	変更前	変更後	変更年月
2015年度入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙③参照	(1)卒業要件単位(最低)数表 注意事項 B) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。	(1)卒業要件単位(最低)数表 注意事項 B) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。なお、4年次進級時の取り扱いは、「進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項D)」のとおりとなる。	2018年11月9日
2014年度入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙④参照	(1)卒業要件単位(最低)数表 注意事項 A) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。	(1)卒業要件単位(最低)数表 注意事項 A) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。なお、4年次進級時の取り扱いは、「進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項E)」のとおりとなる。	2018年11月9日
2013年度以前入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙⑤参照	(1)卒業要件単位(最低)数表 注意事項 A) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。	(1)卒業要件単位(最低)数表 注意事項 A) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。なお、4年次進級時の取り扱いは、「進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項E)」のとおりとなる。	2018年11月9日
2015年度入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙③参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項 D) 必修科目の全て学部内共通科目・学科固有科目の選択科目の選択必修との合計単位とする。(教養教育科目の選択必修の単位は含めない。)	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項 D) 必修科目の全て学部内共通科目・学科固有科目の選択科目の選択必修との合計単位とする。(教養教育科目の選択必修の単位は含めない。)なお、グリーンケミストリー科目の余分に取得した単位(4科目のうち3科目以上)は、4年次進級の際には「必修科目単位数」と「選択必修科目谷数」を合わせた単位数に換算する。	2018年11月9日
2014年度入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙④参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項 E) グリーンケミストリー科目の余分に取得した単位(4科目のうち3科目以上)は、4年次進級の際には「必修科目単位数」と「選択必修科目谷数」を合わせた単位数に換算する。	2018年11月9日
2013年度以前入学生	物質化学科	卒業・進級要件 ※別紙⑤参照	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項	(3)進級に係わる取得単位(最低)数表 注意事項 E) グリーンケミストリー科目の余分に取得した単位(4科目のうち3科目以上)は、4年次進級の際には「必修科目単位数」と「選択必修科目谷数」を合わせた単位数に換算する。	2018年11月9日

3. 卒業・進級の要件

(1)卒業要件単位（最低）数表

卒業のためには下表に示すように必修科目および選択科目を合わせて134単位の修得が必要である。

区分		種類	単位数
教養教育科目 (共同開講科目)	基礎科目	必修	12
		選択	10
		(小計)	(22)
	総合科目	選択	6
(小計)		(6)	
学 部 内 学 科 固 有 科 目	必修	必修	6
		選択必修	2
		選択	10 A)
	(小計)	(18)	
学 科 固 有 科 目	必修	必修	53
		選択	26
	(小計)	(79)	
自 由 選 択 科 目	選択	選択	9 B)
		(小計)	(9)
合 計			134

△ 注意事項

- A) 学部内共通科目は原則として総合分野から4単位以上取得すること。
- B) 自由選択科目については、区分を問わず修得することができる(随意科目は除く)。なお、基礎数学、基礎物理学、他学科科目は自由選択科目とする(他学科科目の単位制限無し)。

(2)進級に係る在学期間

各年次の進級に必要な在学期間は原則として下表のとおりである。ただし、休学期間は進級要件上の在学期間には算入しない。

進級年次	必要在学期間 (最低)
2年進級	1年間
3年進級	2年間
4年進級	3年間
卒業	4年間

(3)進級に係る取得単位（最低）数表

理工学部においては、学年が進むにつれ内容が高レベルになるように構成されている。

各年次の進級のための取得単位数の要件は原則として下表のとおりである。

区分		単位数
2年進級	必修科目単位数	14
	卒業要件総取得単位数	30 C)
3年進級	必修科目単位数	30 E)
	卒業要件総取得単位数	62 D)
4年進級	必修科目単位数	62 E)
	卒業要件総取得単位数	112 F)
卒業	必修科目単位数	73 E)
	卒業要件総取得単位数	134

△ 注意事項

- C) 特別措置として、1年次留年生は、2年次配当の実験・実習科目(物理実験、計算機実習Ⅱ、計算機応用実習)以外の登録を登録制限単位数まで認める。希望者は理工学部教務課へ所定の期間内に申し出ること。
- D) 特別措置として、2年次留年生は、3年次配当の実験・実習・演習科目(機械システム工学実験Ⅰ、機械システム工学実験Ⅱ、学外実習(キャリア実践実習)、グローバル人材育成プログラムⅠ・Ⅱ(海外キャリア実践教育及び実習A・B)、要素設計、設計製図、材料力学演習、熱・流体演習、電子・制御演習、機械システム工学総合演習、セミナー)以外の登録を登録制限単位数まで認める。希望者は理工学部教務課へ所定の期間内に申し出ること。
- E) 選択必修科目である学外実習(キャリア実践実習)もしくはグローバル人材育成プログラムⅠ(海外キャリア実践教育及び実習A)の2単位を含む。
- F) 原則として、物理実験、計算機基礎実習Ⅰ、計算機実習Ⅰ、計算機実習Ⅱ、計算機応用実習、機械システム工学実験Ⅰ、機械システム工学実験Ⅱ、学外実習(キャリア実践実習)もしくはグローバル人材育成プログラムⅠ・Ⅱ(海外キャリア実践教育及び実習A・B)、機械製図Ⅰ、機械製図Ⅱ、要素設計、設計製図、機械システム工学総合演習、セミナーは全て修得していること。また、材料力学演習、熱・流体演習、電子・制御演習については、2科目以上修得していること。

3-1. 卒業・進級の要件 (2015~2017年度入学生)

(1) 卒業要件単位 (最低) 数表

卒業のためには下表に示すように必修科目および選択科目をあわせて124単位の修得が必要である。

区分		単位数	
教養教育科目	必修	仏教	4
		英語	6
		スポーツ	2
	選択必修	基幹	2
		人文 社会	2
選択	12		
(小計)	(28)		
学部内共通科目	必修	6	
	選択必修	2	
	選択	8 B)	
	(小計)	(16)	
学科固有科目	必修	56	
	選択	24 C)	
	(小計)	(80)	
合計		124	

⚠ 注意事項

- A) 教養教育科目の選択必修科目 (基幹科目) の余剰修得単位は、教養教育科目の選択科目 (必修・選択必修以外の科目を指す) として計上される。
- B) 学部内共通科目は原則として総合科目から4単位以上取得すること。
- C) 基礎数学、基礎物理学は1年次のみ履修可能とし、学科固有科目 (選択) として認める。

(2) 進級に係る在学期間

各年次の進級に必要な在学期間は原則として下表のとおりである。ただし、休学期間は進級要件上の在学期間には算入しない。

進級年次	必要在学期間 (最低)
2年進級	1年間
3年進級	2年間
4年進級	3年間
卒業	4年間

(3) 進級に係る取得単位 (最低) 数表

理工学部においては、学年が進むにつれ内容が高レベルになるように構成されている。

各年次の進級のための取得単位数の要件は原則として下表のとおりである。

区分		単位数
2年進級	必修科目単位数	14
	卒業要件総修得単位数	30 D)
3年進級	必修科目単位数	30
	卒業要件総修得単位数	62 E)
4年進級	必修科目単位数	60
	選択必修科目単位数	2 F)
	卒業要件総修得単位数	102 G)
卒業	必修科目単位数	74
	選択必修科目単位数	6 H)
	卒業要件総修得単位数	124

⚠ 注意事項

- D) 特別措置として、1年次留年生は、2年次配当の実験・実習科目 (物理実験、計算機プログラミング実習、計算機応用実習) 以外の登録を登録制限単位数まで認める。希望者は理工学部教務課へ所定の期間内に申し出ること。
- E) 特別措置として、2年次留年生は、3年次配当の実験・実習・演習科目 (機械システム工学実験Ⅰ、機械システム工学実験Ⅱ、学外実習 (キャリア実践実習)、グローバル人材育成プログラムⅠ・Ⅱ、要素設計、設計製図、材料力学・機械力学演習、熱・流体演習、電子・制御演習、機械システム工学総合演習、セミナー、計算力学実習) 以外の登録を登録制限単位数まで認める。希望者は理工学部教務課へ所定の期間内に申し出ること。

F) 教養教育科目の選択必修の単位は含めない。

G) 原則として、機械システム工学入門、物理実験、計算機基礎実習Ⅰ、計算機プログラミング実習、計算機応用実習、機械システム工学実験Ⅰ、機械システム工学実験Ⅱ、機械製図Ⅰ、機械製図Ⅱ、機械システム工学総合演習、セミナーは全て修得していること。また、材料力学・機械力学演習、熱・流体演習、電子・制御演習については、2科目以上修得していること。

H) 教養教育科目の選択必修単位数4単位+学部内共通科目の選択必修単位数2単位

3-1. 卒業・進級の要件 (2015~2017年度入学生)

(1)卒業要件単位 (最低) 数表

卒業のためには下表に示すように必修科目および選択科目をあわせて124単位の修得が必要である。

区 分		単位数	
教養教育科目	必修	仏教	4
		英語	6
		スポーツ	2
	選択必修	基幹	2
		人文社会	2
選択	12		
(小計)	(28)		
学部内共通科目	必修	12	
	選択必修	2	
	選択	4	
	(小計)	(18)	
学科固有科目	必修	60	
	選択必修	4	
	選択	14	
	(小計)	(78)	
合 計	124		

△ 注意事項

- A) 教養教育科目の選択必修科目 (基幹科目) の余剰修得単位は、教養教育科目の選択科目 (必修・選択必修以外の科目を指す) として計上される。
- B) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。なお、4年次進級時の取り扱い、「進級に係わる取得単位 (最低) 数表 注意事項 D)」のとおりとなる。

(2)進級に係る在学期間

各年次の進級に必要な在学期間は原則として下表のとおりである。ただし、休学期間は進級要件上の在学期間には算入しない。

進級年次	必要在学期間 (最低)
2年進級	1年間
3年進級	2年間
4年進級	3年間
卒業	4年間

(3)進級に係わる取得単位 (最低) 数表

理工学部においては、学年が進むにつれ内容が高レベルになるように構成されている。

各年次の進級のための取得単位数の要件は原則として下表のとおりである。

区 分		単位数
2年進級	取得単位数の要件を設けない	
3年進級	必修科目単位数	40
	卒業要件総修得単位数	62 C)
4年進級	必修科目単位数	78 D)
	選択必修科目単位数	
	卒業要件総修得単位数	98 E)
卒業	必修科目単位数	84
	選択必修科目単位数	10 F)
	卒業要件総修得単位数	124

△ 注意事項

- C) 特別措置として、2年次留年生は、3年次配当科目 (無機合成化学実験、機器分析化学実験、科学技術英語、学外実習 (キャリア実践実習)、グローバル人材育成プログラム I・II、物質化学研究デザイン演習を除く) の登録を年間8単位まで認める。(登録制限単位数に含む)
- D) 必修科目の全てと学部内共通科目・学科固有科目の選択必修との合計単位とする。(教養教育科目の選択必修の単位は含めない)
- E) 次の科目をすべて修得していること。物理実験、化学基礎実験、計算機基礎実習 I、無機合成化学実験、有機合成化学実験、物理化学実験、機器分析化学実験、学外実習 (キャリア実践実習) もしくはグローバル人材育成プログラム I・II、物質化学研究デザイン演習

F) 教養教育科目の選択必修単位数 4 単位 + 学部内共通科目の選択必修単位数 2 単位 + 学科固有科目の選択必修単位数 4 単位

教育課程
固有科目

なお、グリーンケミストリー科目の余分に取得した単位 (4科目のうち3科目以上) は、4年次進級の際には「必修科目単位数」と「選択必修科目単位数」を合わせた単位数に換算する。

3-2. 卒業・進級の要件 (2014年度入学生)

(1) 卒業要件単位 (最低) 数表

卒業のためには下表に示すように必修科目および選択科目をあわせて124単位の修得が必要である。

区 分		単位数	
教養教育科目	基礎科目	必修	12
		選択	10
		(小計)	(22)
	総合科目	選択	6
(小計)		(6)	
学 部 内 共 通 科 目	必修	必修	12
		選択必修	2
	選択	選択	4
		(小計)	(18)
学 科 固 有 科 目	必修	必修	60
		選択必修	4 A)
	選択	選択	14
		(小計)	(78)
合 計		124	

⚠ 注意事項

- A) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。なお、4年次進級時の取り扱い、「進級に係わる取得単位 (最低) 数表 注意事項 E)」のとおりとなる。

(2) 進級に係る在学期間

各年次の進級に必要な在学期間は原則として下表のとおりである。ただし、休学期間は進級要件上の在学期間には算入しない。

進級年次	必要在学期間 (最低)
2年進級	1年間
3年進級	2年間
4年進級	3年間
卒業	4年間

(3) 進級に係わる取得単位 (最低) 数表

理工学部においては、学年が進むにつれ内容が高レベルになるように構成されている。

各年次の進級のための取得単位数の要件は原則として下表のとおりである。

区 分	単位数	
2年進級	取得単位数の要件を設けない	
3年進級	必修科目単位数	40
	卒業要件総修得単位数	62 B)
4年進級	必修科目単位数	78 E)
	選択必修科目単位数	
	卒業要件総修得単位数	98 C)
卒 業	必修科目単位数	84
	選択必修科目単位数	6 D)
	卒業要件総修得単位数	124

⚠ 注意事項

- B) 特別措置として、2年次留年生は、3年次配当科目(無機合成化学実験、機器分析化学実験、科学技術英語、学外実習(キャリア実践実習)、グローバル人材育成プログラムI・II、物質化学研究デザイン演習を除く)の登録を年間8単位まで認める。(登録制限単位数に含む)
- C) 次の科目をすべて修得していること。
物理実験、化学基礎実験、計算機基礎実習I、無機合成化学実験、有機合成化学実験、物理化学実験、機器分析化学実験、学外実習(キャリア実践実習)もしくはグローバル人材育成プログラムI・II、物質化学研究デザイン演習
- D) 学部内共通科目の選択必修単位数2単位+学科固有科目の選択必修単位数4単位
- E) なお、グリーンケミストリー科目の余分に取得した単位(4科目のうち3科目以上)は、4年次進級の際には「必修科目単位数」と「選択必修科目単位数」を合わせた単位数に換算する。

3. 卒業・進級の要件

(1) 卒業要件単位（最低）数表

卒業のためには下表に示すように必修科目および選択科目を合わせて134単位の修得が必要である。

区 分		単位数	
教養教育科目 (共同開講科目)	基礎科目	必修	12
		選択	10
		(小計)	(22)
	総合科目	選択	6
		(小計)	(6)
		学部内共通科目	必修
	選択必修	2	
	選択	4	
	(小計)	(18)	
学科固有科目	必修	64	
	選択必修	4 A)	
	選択	20	
	(小計)	(88)	
合 計		134	

⚠ 注意事項

- A) グリーンケミストリー関連科目より、4単位修得すること。余剰分は学科固有科目の選択科目に計上される。なお、4年次進級時の取り扱い、「進級に係る取得単位（最低）数表 注意事項E）」のとおりとなる。

(2) 進級に係る在学期間

各年次の進級に必要な在学期間は原則として下表のとおりである。ただし、休学期間は進級要件上の在学期間には算入しない。

進級年次	必要在学期間 (最低)
2年進級	1年間
3年進級	2年間
4年進級	3年間
卒業	4年間

(3) 進級に係る取得単位（最低）数表

理工学部においては、学年が進むにつれ内容が高レベルになるように構成されている。

各年次の進級のための取得単位数の要件は原則として下表のとおりである。

区 分		単位数
2年進級	必修科目単位数	20
	卒業要件総修得単位数	30 B)
3年進級	必修科目単位数	44
	卒業要件総修得単位数	62 C)
4年進級	必修科目単位数	82 E)
	選択必修科目単位数	
	卒業要件総修得単位数	106 D)
卒業	必修科目単位数	88
	選択必修科目単位数	6 F)
	卒業要件総修得単位数	134

⚠ 注意事項

- B) 特別措置として、1年次留年生は、2年次配当科目（物理実験、物理化学実験を除く）の登録を年間10単位まで認める。（登録制限単位数を含む）
- C) 特別措置として、2年次留年生は、3年次配当科目（無機合成化学実験、有機合成化学実験、機器分析化学実験、科学技術英語、学外実習（キャリア実践実習）、グローバル人材育成プログラムⅠ・Ⅱ（海外キャリア実践教育及び実習A・B）、物質化学研究デザイン演習を除く）の登録を年間8単位まで認める。（登録制限単位数を含む）

D) 次の科目をすべて修得していること。

物理実験、化学基礎実験、計算機基礎実習Ⅰ、無機合成化学実験、有機合成化学実験、物理化学実験、機器分析化学実験、学外実習（キャリア実践実習）もしくはグローバル人材育成プログラムⅠ・Ⅱ（海外キャリア実践教育及び実習A・B）、物質化学研究デザイン演習

F) 学部内共通科目の選択必修単位数 2単位 + 学科固有科目の選択必修単位数 4単位

E) なお、グリーンケミストリー科目の余分に取得した単位（4科目のうち3科目以上）は、4年次進級の際には「必修科目単位数」と「選択必修科目単位数」を合わせた単位数に換算する。